

琉球大学学術リポジトリ

沖縄女性の伝統的性役割行動からみた地域ケア・システムモデル構築に関する研究

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2007-03-03 キーワード (Ja): 後期高齢者, 生活自立度, ソーシャルサポート, 生活満足度, 抑うつ傾向, 自尊感情, 社会的健康度, 伝統的慣習 キーワード (En): elderly peoples, degree of the life independence, social support, degree of the life satisfaction, depression tendency, self-esteem, degree of the social health, traditional customs 作成者: 與古田, 孝夫, 石津, 宏 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/141

沖縄女性の伝統的性役割行動からみた地域ケア・
システムモデル構築に関する研究

(課題番号 13672462)

平成 13 年度～平成 15 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2))

研究成果報告書

平成 16 年 3 月

研究代表者 與古田 孝夫
(琉球大学医学部 教授)

はしがき

本調査報告書は、日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(C)(2) 課題番号 13672462）の助成を受けて、平成 13 年から平成 15 年に実施した「沖縄女性の伝統的性役割行動からみた地域ケア・システムモデル構築に関する研究」の成果報告書である。

平成 12 年度国勢調査によると 65 歳以上の老年人口は 17.5%で、平成 62 年(2050 年)には 32.3%に達することが見込まれている。なかでも、75 歳以上の後期高齢者に限ると、平成 32 年(2020 年)には後期高齢者数が前期高齢者数を上回り、平成 37 年(2025 年)には、その数は約 2,000 万人に達するとされており、後期高齢者数の著しい増加が予測されている。また、高齢者の生命予後を規定する要因として、年齢、性別、障害の有無、健康度自己評価に加え、ソーシャルコンタクト・サポートなど、研究者により多くの指摘がなされている。本研究は、こうした高齢者および後期高齢者を対象に、身体・心理・社会的諸要因について多面的に検討すると同時に、沖縄の伝統的社会文化的側面、とりわけ伝統行事への参加状況や日常生活上の拌みの状況やその意識との関連を明らかにすることを試みた。

日本の最南端に位置する沖縄県は、亜熱帯・海洋性気候、42 の有人島が点在する島嶼県であり、過去、マラリアやフィラリア、日本脳炎など風土病の蔓延や乏しい保健医療資源のなか、地域社会において社会的弱者を孤立させず、相互に助け合う相互扶助支援ネットワーク（ユイマール）を構築し、現在では長寿社会のモデル地域として世界的にも注目されるまでに至っている。しかし、厚生労働省による平成 12 年都道府県生命表によれば、女性は平均寿命 1 位を維持したものの、男性は 4 位から 26 位に大きく順位を落としており、その背景には食習慣や成人病、飲酒、自殺の問題など、種々の指摘がなされている。本研究結果を通して導かれることは、前述のいずれの要因も相互不可分に緊密に関わるのであり、とりわけメンタルヘルスの側面は人間の行動様式を規定する要因として重要な意味を持つということであり、本研究成果が高齢者の健康長寿推進の一助となれば幸いである。

最後に、本研究に際して快く調査にご協力いただきました地域住民の方々、および具志川村、中城村、西原町関係各位の皆様へ、記して深甚なる謝意を表します。

平成 15 年 3 月

研究代表者 琉球大学医学部教授 與古田孝夫

研究組織

研究代表者：與古田 孝夫（琉球大学医学部教授）

研究分担者：石 津 宏（琉球大学医学部教授）

（研究協力者：照屋淳（中城村健康福祉課）、伊敷史子、上原小百合、
山田亨、上地真知子、上江洲歩、佐和田重信、西田善郎
（以上、琉球大学医学部保健学科））

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成13年度	900	0	900
平成14年度	700	0	700
平成15年度	600	0	600
総計	2,200	0	2,200

研究発表

(1) 学会誌

1. 與古田孝夫、赤嶺依子、具志堅美智子、沖縄における地域高齢者の self-esteem(自尊感情)とその関連要因についての検討、144 巻 5 号、2002 年 5 月
2. 佐和田重信、與古田孝夫、石津宏、照屋淳、高倉実、赤嶺依子 他、心身医学におけるサルート ジェネシスの実践を－祭事への参加が自尊感情を高める、Medical Tribune、2003
3. 與古田孝夫、石津宏、高江洲なつ子、高倉実、赤嶺依子、垣花シゲ 他、沖縄の伝統的地域特性と地域高齢者のメンタルヘルスに及ぼす要因についての検討、日本心身医学会誌（印刷中）

(2) 口頭発表

1. Takao Yokota, Fumiko Ishiki, Sayuri Uehara et. al. , Self-esteem of the elderly people in relation to the psycho-socio-cultural aspects of Okinawa - results of an investigation of the Tairagawa, Gushikawa-shi area-, Okinawa International Conference on longevity, November. 2001
2. 伊敷史子、上原小百合、與古田孝夫 他、沖縄の伝統的社会文化的側面からみた高齢者のメンタルヘルスについての検討、民族衛生、第 67 巻付録、2001 年 11 月
3. 上原小百合、伊敷史子、與古田孝夫 他、高齢者の自尊感情 (self-esteem) に影響する要因についての検討、民族衛生、第 67 巻付録、2001 年 11 月

people in relation to psychosocial aspects in Okinawa Field of Study, The 10th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine, September. 2002

5. 上江洲歩、上地真知子、山田亨、與古田孝夫、照屋淳、高倉実、石津宏、地域高齢者の疾病対処と代替医療との関連意識についての検討、日本民族衛生学会第30回沖縄地方会、2002年10月
6. 上地真知子、山田亨、上江洲歩、與古田孝夫、照屋淳、高倉実、石津宏、性差からみた地域高齢者の伝統的信仰意識とメンタルヘルスとの関連についての検討、日本民族衛生学会第30回沖縄地方会、2002年10月
7. 山田亨、上江洲歩、上地真知子、與古田孝夫、照屋淳、高倉実、石津宏、高齢者の自己効力感 (self-efficacy) に影響する要因についての検討—中城村地域高齢者の調査結果から—、日本民族衛生学会第30回沖縄地方会、2002年10月
8. 與古田孝夫、上江洲歩、山田亨、上地真知子、照屋淳、石津宏、代替医療の側面からみた地域高齢者の心身症状に対する疾病対処意識についての検討、第42回日本心身医学会九州地方会、2003年1月
9. 佐和田重信、與古田孝夫、高江洲なつ子、照屋淳、兪峰 他、伝統的信仰意識が地域高齢者のメンタルヘルスに及ぼす影響についての検討、第68回日本民族衛生学会総会、2003年11月
10. 與古田孝夫、佐和田重信、高江洲なつ子、山里愛、高倉実 他、地域後期高齢者の抑うつ症状と身体及び心理社会的要因との関連、第68回日本民族衛生学会総会、2003年11月

目 次

はしがき

Abstracts of Research Project

I. 具志川市平良川地区における地域高齢者を対象とした調査結果	
1. 具志川市平良地区の伝統的社会的文化的側面からみた高齢者のメンタルヘルスについての検討	1
2. 具志川市平良地区高齢者の自尊感情 (Self-esteem) とその関連要因についての検討	7
II. 中城村における地域高齢者を対象とした調査結果	
A. 中城村当間地区および南上原地区における地域高齢者の調査結果	
1. 中城村地域高齢者の性別による伝統的信仰意識に関する検討	11
2. 地域高齢者の疾病・症状に対する対処行動と代替医療の関連意識についての検討	15
3. 高齢者の自己効力感 (Self-efficacy) とその関連要因についての検討	21
B. 中城村 80 歳以上地域後期高齢者を対象とした調査結果	
1. 中城村 80 歳以上の高齢者を対象とした身体的・精神的・社会的要因についての性別による比較結果	27
2. 中城村地区健康事業「ふれあい事業」が高齢者の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響についての検討	44
3. 中城村 80 歳以上地域高齢者の抑うつ傾向とその関連要因についての検討	62
4. 中城村地域住民の地域とボランティア意識に関する検討	69
III. 西原町における地域高齢者を対象とした調査結果	
1. 西原町における 80 歳以上地域後期高齢者の身体的・精神的・社会的要因に関する性別による検討	92
2. 西原町における 80 歳以上地域後期高齢者の社会的健康度に関する身体的・精神的・社会的側面からの検討	110